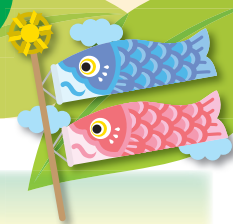


すこやか 5 月号

SANDA CITY HOSPITAL PRESS SUKOYAKA



就任のご挨拶



事業管理者・院長
角田 雅也

- 日本整形外科学会専門医
- 日本整形外科学会認定脊椎脊髄病医
- 日本整形外科学会運動器
リハビリテーション医
- 義肢装具等適合判定医師

令和5年4月に病院事業管理者兼院長に就任しました角田雅也です。

神戸大学を卒業後、大学付属病院、県立加古川病院等、関連病院で整形外科医として勤務し、今から12年前に三田市民病院に整形外科部長として赴任しました。整形外科領域の救急医療をはじめ幅広く診療を行ってまいりましたが、平成27年からは副院長として、この地域の急性期医療の中核として診療機能の充実に尽力してまいりました。また、現在にいたるまで一人の臨床医として外来、入院診療、手術も積極的に取り組んでいるところです。

当院は三田市および周辺市町における重要な急性期病院として、その機能の維持、充実が求められています。この期待に応えるべく荒川前事業管理者の「断らない救急」の旗印のもと、救急医療の充実については着実に実績を上げてまいりました。しかし、新型コロナウイルス感染症の流行以降、約3年間その対応に追われ、図らずも救急を断らざるを得ない状況に追い込まれることもありました。

今後は、感染症分類の見直しとともに、状況は変わってまいります。しかしながら5類に移行しても、

新型コロナウイルスの感染力や病原性が弱毒化するわけではなく、後遺症等も含め依然として未知の部分が残されています。当面の間は、継続して感染症対策に当たるとともに、当院の本来の機能を取り戻し、救急医療を充実させることが第一の使命であると思っております。

また、令和6年度には医師の働き方改革により医師の労働時間が制限されることとなります。医師の過重労働が避けられるのはよいことですが、労働時間を厳密に管理する必要が生じ、特に人数の少ない診療科にとっては今と同様の勤務体制が難しくなる場合も想定されます。できる限り診療内容を維持するためには、タスクシフト・タスクシェアも検討する必要があり、そのためには医師、医療従事者の更なる確保が課題となります。

しかしながら人的な課題等については、当院だけの対応では限界があることから、三田・北神地域の急性期医療の充実を目指し、三田市民病院と済生会兵庫県病院の再編統合が進められています。

済生会と統合し、人材を始めとした医療資源の集約化を図ることで診療内容の高度化、診療科目の増加による対応疾病の広範化等により、患者さんの期待に応えられる病院を構築していくことが重要と考えています。令和5年度はこの新病院の基本計画を策定する予定であり、素晴らしい病院を作り上げるための具体的な取組の第一歩を力強く踏み出してまいりたいと思っております。

再編統合に向けた取組のほかにも多くの課題が山積しています。まずは近隣の病院や診療所との連携をより進めるとともに、職員一同協力し、安心、安全な医療を提供できるよう努めてまいりたいと考えますので、当院診療へのご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



New Face 2023

新任医師紹介

診療部では
新任の医師を迎え、
より一層日々の診療に
力を入れて参ります。
よろしくお願いいたします。

4月1日採用



診療科
形成外科
部長
氏名
見目 和崇
けんもく かずたか

4月1日採用



診療科
脳神経外科
医長
氏名
徳田 康
とくだ こうじ

4月1日採用



診療科
外科
医長
氏名
山田 康太
やまだ こうた

4月1日採用



診療科
整形外科
副医長
氏名
安部 真人
あべ まさと

4月1日採用



診療科
外科
医員
氏名
中村 浩之
なかむら ひろゆき

4月1日採用



診療科
整形外科
医師
氏名
石村 颯貴
いしむら さつき



氏名 岡本 智史
診療科 麻酔科 医師

4月1日採用



氏名 伊藤 克拓
診療科 整形外科 医師

4月1日採用



氏名 木下 雅人
診療科 脳神経外科 医師

4月1日採用



氏名 吉田 美央
診療科 消化器内科 医師

4月1日採用



氏名 宇野 将真
診療科 循環器内科 医師

4月1日採用



氏名 小倉 千聡
診療科 耳鼻いんこう科 副医長

5月1日採用



新型コロナウイルス感染症に罹患された患者さんへ 当院受診時のお願い

国が推奨している療養期間は下記のとおり5日間ですが、**発症日を0日目として10日間はウイルスを排出する可能性がある**とされており、医療機関内には高齢者や基礎疾患をお持ちの患者さんが多数おられることから、当院では**感染性がある期間の発症後10日間の受診は、極力避けていただく**ようお願いしております。

なお、**感染性がある期間に急を要する等、受診をご希望される場合は受診前に必ずご連絡ください。**また、入院となった場合は専用病床へご入院頂きますことをご了承ください。

2023年5月8日

三田市民病院 院長

(参考) 5類へ位置づけ変更後の療養に関する厚生労働省からの推奨

- 症日を0日目として発症後5日を経過し、かつ、症状軽快から24時間経過するまでは外出を控える。(無症状者は検体採取日を0日目とします)
- 療養後も10日間が経過するまでは、ウイルスを排出する可能性があるため、マスク着用や高齢者等ハイリスク者と接触は控える等、配慮する。

※参考1 国立感染症研究所のデータ

感染力のあるウイルスを排出する患者さんの割合は、発症日を0日目として8日目で15%程度、11日目で4%程度となります。

編集後記

新年度が始まり、はや1か月が経ちました。院長交代に伴い、新しい体制での船出になりますが、これまでどおり市民のみなさまに信頼していただけるように職員一丸となって精進してまいります。

すこやか(第227号)
令和5年5月発行

【編集・発行】
三田市民病院
学術広報推進委員会



三田市民病院

〒669-1321 三田市けやき台3丁目1番地1
TEL.079-565-8000 (代表)
<https://www.hospital.sanda.hyogo.jp/>